

認知症患者への支援と食品ロスをなくす区民運動を問う



瀬野 喜代
(民主・市民)

認知症患者への支援を問う

認知症で行方不明の方の早期発見のため、理解ある区民にメール配信等で協力をお願いする体制を作るべき。また、声掛けの模擬訓練を実施して理解を広めるべき。

小中学校向け認知症サポーター養成講座は、地域づくりとして、人権講座としても他人への思

いやりを考えるよい機会になる。教育委員会は普及を支援すべき。

この講座では、高齢者に対する尊敬や感謝の心が育まれたと認識している。今後、他校に広めていくための課題について関係部署と連携し、検討する。

食品ロスをなくす区民運動を問う

食品を減らす区民運動を区民の参画で案を作り、実施すべき。また、困っている人へ食品を届けるフードバンクと連携してはどうか。

食品ロスの削減は重要な課題と捉え、今年度「もったいない事業」を開始した。普及啓発やPR活動等を実施していく。フードバンク活動は、取り組みを注視する。

その他の質問項目

防災対策と旭電化跡地の今後を問う



服部 敏夫
(自民党)

問う

防災対策を問う

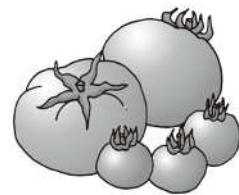
首都直下地震の切迫性を踏まえ、密集市街地の改善は急務であり、国土強靱化地域計画なども活用しながら、早期に実現すべきである。その際には都市計画道路補助90号線の整備等と合わせ、「せせらぎの小路」の整備や藍染川幹線の整備、サインの設置なども行う。災害対策だけでなく、地域の課題を解消し、さらに魅力を高めていくような視点を持って推進すべきと考えるが、見解を問う。

国土強靱化地域計画の策定の第一実施団体に選定された。

今後、地域計画の策定に向け精力的に取り組む。都市計画道路補助90号線の整備に当たっては、三河島水再生センターに隣接する地区の特性を生かした整備や藍染川幹線の臭気対策、サイン計画などについて、防災・減災の効果を発揮することはもとより、景観への配慮や住環境の整備に努める。

地域の防災力強化について、防災区民組織では高齢化や新入隊員不足などの悩みを抱えており、後継者を育てるべきと考える。また永久水利施設の活用に当たっては、ポンプ操法等をビジュアル的

○解釈変更による改憲について
○共通番号制度について



なマニュアルを作成して活用する

とともに、操法大会や応用訓練を実践する場を作るべきではないか

さらに、停電に備え、公衆浴場に井戸水を湯水できる非常用発電機を整備すべきと考えるがどうか。

防災訓練の際には、加入への働きかけを行い、一般区民向けに資機材操作講習会の実施等で、積極的な参加の契機にしていく。永久水利施設の操作・活用マニュアルについては、動画なども使ってわかりやすく解説したものを作成する。また、土気を高めるため、消防署と協議し、区民操法大会の実施を検討する。公衆浴場への非常用電源配備は、費用等の課題も含め、検討する。

旭電化跡地の今後を問う

旭電化跡地は、都の教育・文化施設整備計画が一方的に凍結された後、暫定利用であるが多目的広場として区民に利用されてきた。ダイオキシソキソキ類が検出された問題については、早急にダイオキシソキソキ対策を実施し、さらに未利用地や駐車場も含めた一体的な拡張整備

も、都の責任において実施するよう求めるべきと考えるがどうか。

多目的広場は、これまでの長年にわたる経緯を踏まえて、ダイオキシソキソキ対策工事のみではなく、都の責任において駐車場等も含めて拡張再整備するよう申し入れを行った。可能な限り早期に、区が主張する方向で協議を整え、区民に一日も早く使用してもらえよう全力で取り組む。

その他の質問項目

子育て支援について



子育て教育都市あらかわと魅力あるあらかわ遊園を問う



菊地 秀信
(公明党)

子育て教育都市あらかわを問う

全校に1人1台体制でタブレットパソコンが導入されるが、利用環境の整備は大丈夫か。教員の負担も小さくなく、指導法の共有等による負担軽減を進めてほしい。また、聴く、読むという受け身の学習よりも、他者に教える等の学習の方が効果は高いとの調査結果も発表されている。学習形態は進化しており、国際感覚や時代に合った能力向上に資する授業に一層力を入れるべきと考えるがどうか。

タブレットパソコンは自分の考えをまとめ、互いに説明、議論することが容易にできるツールであり、これからの社会に必要な能力を育成する上で非常に有効とされている。今後、環境整備や教員への事前研修等に万全を期していく。

小学生の集団登校では、集合場所に移動するために遠回りして道路を渡ることがある。交通事故から子どもを守るため、集合場所の見直しを図ること。さらに、通学経路が安全上最適であるかを確認すべきと考えるがどうか。

集団登校の集合場所について

は、安全性等の条件を考慮し、各学校において保護者と相談の上、決定している。集団登校の集合場所の点検・見直しや通学路及び通学経路の安全点検を必ず行うよう、校長会等を通じ徹底する。

魅力あるあらかわ遊園を問う

あらかわ遊園で障がい者に花壇の管理を手伝ってもらえば、障がい者の理解を深めることができる。現在のパンやクッキーの販売と合わせて、障がい者の活動場所の提供を検討してはどうか。

障がい者があらかわ遊園内の花壇管理等、いきいきと活動する姿を多くの方々に見ってもらうことは、障がい者の理解につながる。区は、新たな活動の場などを提供する。障がい者団体等の意見を十分聞くとともに、関係部門と連携しながら検討する。

スポーツハウス利用者数向上のため、スポーツ教室参加者のターゲットを絞り、新規利用者を増やすことや、利用者のあらかわ遊園入場を無料にするのはどうか。また、パラリンピック種目の強化トレーニング拠点として設備を充実させ、トップレベルの選手が利用

用する施設を目指してはどうか。

新たな利用者層の開拓と各種事業の充実により利用者増を図る。利用者のあらかわ遊園入場無料特典は検討する。また、障がい者スポーツに関する施設整備は、関係団体と連携し、多くの障がい者が楽しく参加できるよう研究する。

その他の質問項目

建築物の老朽化対策について

支え合い地域の創出による共生社会の実現について

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録がほしい。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページ <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kougikai/> で平成13年5月以降の本会議録を検索することが出来ます。あわせてご利用ください。



あらかわ あらみい

平成26年度荒川区議会定例会・9月会議は

9月中旬に開会する予定です。